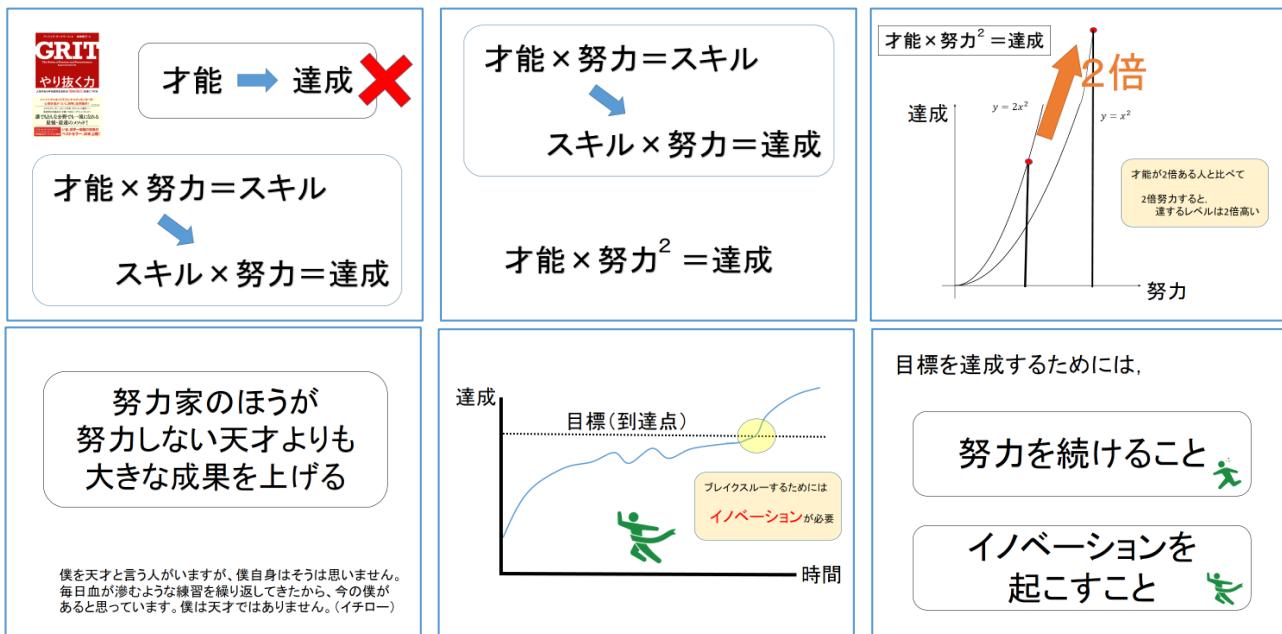


あなたは、才能と努力の関係をどのようにとらえていますか？私は才能が乏しいから、結果が出ないとあきらめていますか。ペンシルバニア大学教授のアンジェラ・リー・ダックワースの「GRIT（やり抜く力）」という本には、才能だけでは達成できない。才能は努力によってスキルとなり、そのスキルにさらに努力を重ね合わせることで達成される、という趣旨のことが書かれています。私なりに解釈すると、これらを式化し、代入することで「才能×努力²=達成」という二次関数の式を得ることができます。これをグラフにして読み解けることは何か。それは、目的を達成するのに才能よりも努力のほうが大きな影響があるということです。



それでも時として、乗り越えられない壁を感じた時、ブレイクスルーするための必要となるのがイノベーションです。このM7では、イノベーションを体験するためにさまざまな工夫がちりばめられています。実際に企業にインターンとして参加し、研修などを経て、企業とともにMissionをクリアするための企画を提案します。皆さんの独創的なideaを楽しみにしています。

<授業の感想>

- いつもは考えない視点からのミッションや課題が多く与えられ、難しいとは思うが、新しい考え方や意見を入れられる貴重な場だと思うので頑張りたい
- 日々、私にはひらめき力や創造性が足りないと思っていた。今回のミッションで班の人と話し合う中で、そういう力を高めていければいいと思った。社会に出ていって、「答えのない問い」が多く出現したとき、途方に暮れるのではなく、思考を重ね、自分なりの答えを模索できる人になりたいから、頑張りたい。また、企業からどんなミッションが与えられるのかと純粋にわくわくしている
- 才能×努力=スキル スキル×努力=成果 才能×努力²=成果 などとしたら、才能は努力次第でいくらでも超えていける。2倍の才能を持った人に2倍の努力は必要ないと分かった。そして、才能×努力²=成果ならばなおさら努力が大切だとも思った
- 自分は、何をやるにしても大した才能は持っていない。だからこそ、こつこつ日々他人以上に努力することは大切なのだと感じた。数年後、社会に出て働くようになったとき、「今まで〇〇という目標に向けて〇〇してきたからいける」と、自信を持って言えるような社会人になりたい。そのために、中学生で、しかも西京でしか味わえない充実したEP-Aなどの取り組みに積極的に参加し、挫折してもくじけずに何事にも挑む姿勢を崩さないようにしたい。また、様々な経験を通して、革新的なアイデアを生み出すことの出来る柔軟な考え方を身につけたい
- M6の時とも似ている感想だけど、こういった企業や世の大と関わりながらする勉強は、本当に西京だからこそ経験できることだなと思った。これから社会に出るからこそ、こういうことを学生のうちからしておけることはとても貴重だなと思った